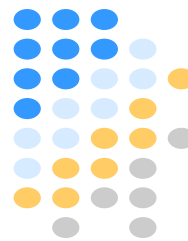


とっとり・グローバルウオッチ

とっとり貿易支援センター情報誌



2006年12月27日

VOL. 2

海外チャレンジ企業

高い技術力を武器に世界へ売り込む！

鳥取県日吉津村にある(株)ビックツールでは、近年、国内はもとより海外との取引が大幅に増加している。自らも作業服に身を包んで日々ものづくりに励んでおられる新井社長と、商品開発・輸出入に携わっている木村開発部長にお話を伺った。

海外輸出の始まりは「ローケン」

ビックツールの海外展開は、1990年ごろ、関西の商社を通じて韓国へ間接輸出したのが始まりであった。今や日本国内シェア90%を占めるスポットカッター研磨機「ローケン」シリーズの輸出だ。当時は1回20～30万円の取引額だったが、現在は数百万円にまで上っている。本格的に海外と取引をするようになったのはここ1,2年のことで、韓国、台湾、中国、フランス、タイが主な輸出先である。



海外ビジネスは言葉の壁が大きい

現在は直接輸出も行っているが、言葉がネックになっている。英語対応の出来る社員が貿易実務を担当しているが、時には相手企業との間に誤解が生じることも否めない。そこで、ジェット口貿易相談

デスクアドバイザーの指導を得ながら実務を行っている。

自慢の技術で海外進出を

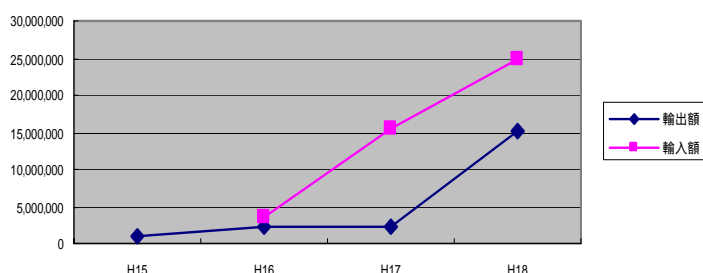
数年前から研究を重ねて取り組んでいる「タップ再生事業」がある。従来、タップは再生できないという一般常識を覆し、大変注目されている。これまで捨てられていた膨大な数のタップを研磨して再び使うことができる。このタップ再生事業は中国大陸で大きな可能性があるため、積極的に現地視察・展示会出展を行っている。

輸出する前の模倣対策が必須

世界中に自社の製品を広めたいが、中国だけは怖い、模倣されるのが一番心配だ、と新井社長は語る。中国では模倣品事例は山のようにあり、技術の向上に伴い更に増え続けている。世界市場を目指す製品は、輸出する前の商標、特許取得によって、模倣されることを事前に防ぐことが大切だ。「今後はもっと積極的に、模倣対策に取り組まなければならない」と新たな挑戦に向けての気構えを語られた。



(株)ビックツール輸出入金額(単位:円)



【企業情報】

株式会社ビックツール
西伯郡日吉津村日吉津38
電話：0859-27-1231

写真左：ローケンS900
写真右：新本社/工場全景
(株)ビックツール提供

目次

海外チャレンジ企業 株式会社ビックツール	P 1
境港CTのガントリー クレーン設置	P 2
豪華客船「飛鳥」 境港発着クルーズ！！	P 2
世界の港湾 シンガポール港	P 3
体験型！！貿易実務 セミナー実施	P 4
中国ビジネスセミナー 実施	P 4
鳥取県産品の台湾市場 への売込みについて	P 5
編集後記	P 5

境港からのお知らせ

Page 2

境港国際コンテナターミナルのガントリークレーン設置

平成16年6月23日に供用開始した境港国際コンテナターミナル(境港CT)には、年々増加する国際コンテナ物流に対応するため、ガントリークレーンも併せて設置しました。しかし、同年の事故により使用不能状態が継続してい



(台船により到着)

たため、利用者の皆さんにはご迷惑をお掛けしてしました。

境港管理組合では、早期の港湾機能の回復を図るべくガントリークレーン設置工事の発注作業等進めておりましたが、先頃、大分県で組み立て作業していたガントリークレーンが完成し、海上輸送のうえ12月1日に境港CTへの搬入が完了しました。

今後の予定としては、年度内に電源工事等を完了し、19年度当初からの供用開始を予定しておりますので、境港CTの機能回復まで、今しばらくお待ちください。

【境港管理組合 宮永】

豪華客船「飛鳥」境港発着クルーズ！！

港湾の多方面な利用

これまでの港湾の役割といえば、国際定期コンテナ航路に代表される貨物の海外取引のための整備・利用が一般的で、これは今後も変わることなく推進していく必要がある。近年は、それに新たな要素「港湾の賑わいの創出」つまり客船寄航が加わってきている。



(朝陽をバックに入港する「飛鳥」)

境港から山陰観光地へ

境港において、今年は過去最高の客船寄港(4隻延べ16回)があり、うち外国船籍13回(2隻延べ13回)の寄港では、約1,500名の欧米人観光客が、境港から山陰観光地へ向かった。その数は、日本船籍寄港での日本人来境者約400名と合わせると1,900名にも上る。要因として、外国船社が新しい目的地としてアジア開拓をする中での日本寄港数増加と、日本でのクルーズブームによるところが大きい。背後に素晴らしい観光地を持つ境港としても、今後は更にこうした港湾利用の需要に応えていく必要がある。

日本船籍最大の豪華客船「飛鳥」

そうした中で、先日、日本のクルーズブームの象徴として注目されていた日本船籍最大の豪華客船「飛鳥」(H18.2就航)の境港発着クルーズ(10/31発~11/1着)が実施された。同船は境港への入港船の中でも過去最大級で、寄港日当日は、その華麗な姿を一目見ようと多数の周辺住民の方が来られた。今回は、事前募集で当選された一般の方100名の船内見学会の他、岸壁からの見学を試験的にシャトルバス等を利用して実施し、多数の方に間近で飛鳥の姿をご覧いただいた。



(家族らに見送られながら出航)

客船寄航を通じて港湾利用促進

今回のクルーズに参加された方々は勿論、船外から見学をされた方も含め、客船の魅力が再認識された方も多かったと思う。今後の港湾は、このような時間を住民の皆様へ提供することも大切だと考え、こうした「賑わいの創出」面での利用促進も推進していきたい。

【境港管理組合 宮永】

NY海外食品市場開拓
ミッション参加者募集
のお知らせ

ジェット口鳥取

「ニューヨーク海外食品 市場開拓ミッション」

本ミッションでは、米国における食品ビジネスや日本食品市場の紹介のほか、現地食品関係者との意見交換や流通現場の視察、自社製品のプレゼンテーションの機会もあります。北米でのビジネスチャンス、食品の輸出可能性を肌で感じることが出来ます。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2007年3月3日~7日
訪問地：米国ニューヨーク市
定員：20名
申込締切：2007年1月26日
詳細、申込はこちら：

[http://www.jetro.go.jp/
events/others/20061207755-
event](http://www.jetro.go.jp/events/others/20061207755-event)

お問い合わせ：ジェット口鳥取
TEL 0857 - 52 - 4335
FAX 0857 - 52 - 4336

シンガポール港

コンテナ取扱本数世界一の超巨大港「シンガポール港」。05年取扱実績は2,230万TEUで、2011年には3000万TEUを目指している。この港には、大量の貨物をスムーズに処理するさまざまな工夫が施されている。



利便性の高い港湾

シンガポール港のセールスポイントは、次の3つのサービスである。

1. コマーシャルフィーダーサービス

自国内の貨物よりも周辺国へのフィーダー()貨物が多いため、インドネシア(15便/日)、タイ(5便/日)、マレーシア(15便/日)向けの商業用フィーダーサービスが充実。
()フィーダー：コンテナ船が寄航する港と、それ以外の港とを結ぶローカル輸送

2. ピックアップサービス

トランシップ貨物が全体の8割を占めることから、予定よりも遅れている貨物を優先的に取り扱うサービス。

3. ATMサービス

港自体を倉庫に見立ててコンテナ貨物を一時保管し、行先が決まったときに配送するサービス。

- ・ATM = Advanced Transship Management

これらは全て、港を利用する荷主が

“より早く、よりスムーズに”貨物をお客に届けるためのサービスである。

今後さらに拡充するシンガポール港

シンガポール港は、バース45、岸壁延長13,000m、クレーン147基、水深14~15mと、数字で見ても分かるように巨大だ。更に、港湾のクレーンについては、近接している観光地の景観に配慮して緑色にしてあるなど、工夫がされている。



シンガポールがマレーシアから独立して7年目の1972年に、アジアでは日本・香港について3番目のコンテナ専用ターミナルが整備された。

シンガポール港のヤードは4箇所に分かれ、このうちの一つ「パセパンジャンターミナル」では、現在の43バースから、2011年をめぐりに52バースへの増設も計画されている。このパセパンジャンターミナルのコンテナヤードへ進入するゲートでは、X線装置の配備によりコンテナ内部が監視され、待ち時間が平均25秒と世界最速を誇っている。

規模では劣るわれらが境港も、そのサービス精神は負けないようにしたい。

写真左：港を管理する港湾局（PSA）ビル40階から
写真右：コンテナヤードに立ち並ぶ無数のクレーン

2007日韓中産業交流会
(ソウル)出品のご案内

ジェットロ鳥取

「2007日韓中産業交流会 (ソウル)展示会」

本交流会は、展示会・シンポジウム・各種セミナーから構成される総合的なビジネス・イベントです。このうち展示会は、企業の皆様に具体的なビジネスの展開を図っていただく上で、絶好の機会になりますので、ぜひご出品下さい。

日時：2007年6月13日～16日

開催地：韓国 高陽

申込締切：2007年3月16日

詳細、申込はこちら：

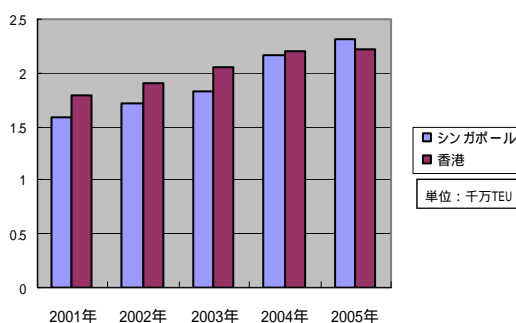
<http://www.jetro.go.jp/events/tradefair/20061205239-event>

お問い合わせ：ジェットロ鳥取

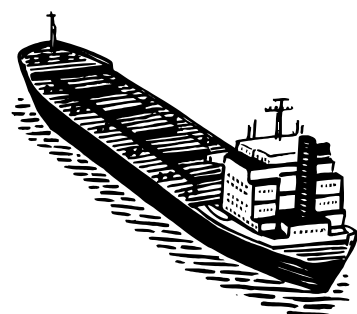
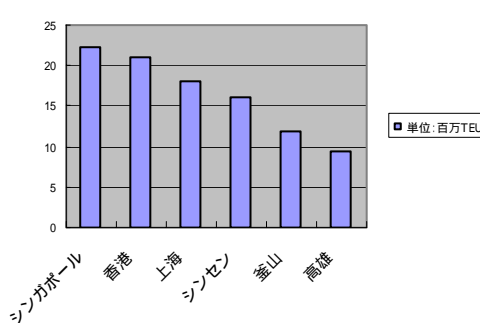
TEL 0857 - 52 - 4335

FAX 0857 - 52 - 4336

05年香港を抜いて世界一のコンテナ取扱量



世界主要港の2005年コンテナ取扱量



県内で開催されたセミナー報告

体験型！！貿易実務セミナー開催

貿易書類作成能力を身に付けてもらうべく、ジェットロ鳥取とジェットロ松江が主催で「体験型！！貿易実務セミナー」を12月2日、3日に米子市商工会議所にて開催し、企業の貿易担当者や、現在の担当業務ではないけれど貿易に関心のある方々を含めて17人が参加した。



(一日目、貿易の仕組みと流れを学ぶ)

ロールプレイで貿易実務を理解する

講師として、長年国際業務を担当してきたジェットロ認定貿易アドバイザーを招き、一日目は貿易未経験者にも分かりやすく貿易全般の仕組みと流れを説明した。二日目、受講者は、輸入業者・輸出業者・第3者機関（通関業者、税関、船会社、銀行）の役をするため、まずは実際に使われているものとほぼ同じ貿易書類を使って、貿易書類がどんなものかを逐一確認し、その

上で各役割を担当、貿易の仕組みと流れを復習しつつ一連の貿易書類の作成を模擬体験した。

更に期待される貿易実務セミナー

事後のアンケートでは、二日目は満足・ほぼ満足の2項目の割合が100%で、中には「もっと詳しく毎週末5回ぐらいの連続講座を」とか、「取扱い商品を絞って、商品分野に特有の手続きも学びたい」という積極的な要望もあった。



(二日目、貿易取引の書類とロールプレイ)

今回のような講座を継続することで、貿易実務の基礎知識を持った方々が増え、その先の段階へ進めるのではないかと期待している。

【ジェットロ鳥取 亀川】

貿易相談事例 Q&A

Q・輸出に係るキャッチオール規制について教えてください。

A・たとえ民生用途であっても、輸出規制の対象貨物を海外に輸出する際には外国為替及び外国貿易法に基づき、経済産業大臣の許可を受ける必要があります。

キャッチ・オール規制とは、ほぼ全ての輸出貨物に関し、顧客や使用目的に着目して規制するものです。大量破壊兵器等の開発に使用されないか、大量破壊兵器等の開発を行う顧客ではないか、という懸念がある場合には許可申請が必要です。判断がつかない場合には、経済産業省に相談しましょう。

経済産業省安全保障貿易管理のHPはこちら
<http://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

【回答者：ジェットロ
貿易相談デスク 黒住】

中国ビジネスセミナー開催

12月4日、県民文化会館にて(財)鳥取県産業振興機構はみずほ銀行と共催で、中国ビジネスセミナーを開催し、県内企業の30名に参加いただいた。

徹底したリスク管理を

中国ビジネス・国際税務に精通した講師が、「中国とどう向き合うか 中国ビジネスの光と影」と題して講演した。内容は、中国における売掛債権回収や与信管理、中国ビジネスの成功と失敗、徹底したリスク管理の必要性、また、国際税務の諸問題などについて事例を挙げながら説明し、「中国は最重要投資先であるが、進出には冷静な判断が必要。」と説いた。

また、セミナー終了後の意見交換会では、参加者が自社の海外進出に関する税制等について直接講師に質問し、的確な回答・アドバイスを得た。参加者からは、「大変参考になった」との声を多くいただいた。



講演する中原(ちゅうげん)投資顧問(株)市川氏

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援部 早川】



鳥取県産品の台湾市場への売込みについて

今回は、我国の農水産物輸出の現況について見てみたい。

日本食ブームを利用した輸出促進

現在、世界的な日本食ブームにより、日本食品にとって「好機到来」の追い風が吹いており、輸出環境が格段に良くなっていると言える。「日本食＝安全、安心で健康に良い」というイメージが定着しているという事である。

日本食を求める各国の富裕層

日本の農水産物は、高価であるが、購入可能な所得階層がすぐ目の前のアジア諸国に出現して来た事が非常に大きい。フリーポートである香港、シンガポールを始めとして、台湾、タイ、マレーシア、韓国、中国沿海部と言ったところに、高価な日本の農水産物を買ってくれる富裕層のいる市場が出現し、それらが拡大しつつある。

地域産品の海外輸出が鍵を握る

日本の農林水産物の輸出について見てみると、2005年度の輸出額は約3,300億円、この内訳は委託加工の為の輸出も含めて水産物が非常に多く約40%、林産物は少なく約3%、あとは農産物と食料品という様な構成になっている。ちなみに、農林水産物の輸入額は約7兆円であり、輸出は4%程度と輸入に比べて非常に小さい数字となっている。以上の現状に鑑み、地域・産地活性化の為に、地域の産品の海外輸出は、戦略的にも非常に有益な施策となる。 <次号へ続く>

日本の貿易相手国ランキング2005年

	輸出	輸入
1位	米国	中国
2位	中国	米国
3位	韓国	サウジアラビア
4位	台湾	アラブ首長国連邦
5位	香港	オーストラリア

出所：ジェトロ

【ジェトロ貿易相談デスク 黒住】

編集後記

年末年始、皆さんはどう過ごされましたか？今年は景気の回復に伴って冬のボーナスも上がり、海外旅行へ行く人が増える見通しだそうです。方面別ではアジアが最多で、その中でも特に中国に人気があるようです。

ところで、海外ではつい気が緩み、財布やカメラを盗まれたという話をよく聞きます。中国では、ここ数年子供のスリが増えているそうで、外国人はおろか中国人もよく被害に遭っています。子供は背が低いのでそばを歩かれても気付かなく、機敏な動作でバッグやポケットから財布を盗むのだそう

です。バッグもポケットも、子供の目線と同じ高さにありますよね。時には集団でスリを行うこともあるそうです。

友達との会話や買い物に夢中になっていると、バッグを開けられたり、ポケットに手を入れられても、案外気が付かないものです。人通りの多い場所では特に、財布はポケットに入れず、バッグは腕を通して胸に抱えるようにしましょう。筆者の財布は中身だけ抜き取られ戻って来ましたが、たいていは財布さえ戻って来ないのが現状です。【那】



『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構海外支援部（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp : 0857-52-6735

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?sub=1&cate=9&ind=1>

とっとり貿易支援センター
貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

（財）鳥取県産業振興機構海外支援部

0857-52-6738

ジェトロ鳥取貿易情報センター

0857-52-4335

【西部窓口】

（株）さかいみなと貿易センター

0859-47-3900

境港貿易振興会

0859-47-3905

【その他関係機関】

境港管理組合港湾管理委員会事務局

0859-42-3705

ジェトロ貿易相談デスク

0859-45-2203

鳥取県商工労働部産業開発課

0857-26-7245・7566